



ボウジンテックス速硬モルタル

ボウジンテックス速硬モルタルは、超速硬性の特殊セメントをベースとし、混和材や骨材からなるプレミックスモルタルです。速硬性モルタルであるため、混練後の可使用時間は約20分間程度ですが、この硬化反応の速さが短時間で実用可能なモルタル強度を発現し、特にモルタル補修後の養生時間が取れないような塗床材の施工下地モルタルとして、また緊急を要する改修工事などに適したモルタルです。
 なお、要求のモルタル厚みに対し薄塗りから10mm厚までの3種類があり各種の床に適応します。

用途

1. 塗り床材の下地調整
2. コンクリート下地の不陸調整
3. 緊急を要する工場、倉庫などの床補修
4. 工期の取れない床面の補修
5. 仕上材の塗り替え下地の不陸調整

特長

1. 速硬性モルタルであるが約20分間の可使用時間がある。
2. 3～5時間の硬化時間で実用上の強度を発現する。
3. 強度発現が速いので施工後3～5時間で塗り床材の施工ができる。
4. 硬化後の乾燥収縮率が小さいため、ひび割れの発生が少ない。
5. レベリング性に優れているため、平滑仕上げが可能である。
6. 厚塗りタイプは耐荷重性に優れている。

性状と性能

| 測定項目 | | MM-10 | MM-3 | MM-1 | 備考 |
|----------------|---------|-------|------|------|---------------------|
| 初期フロー値 (mm) | | 170 | 190 | 145 | SL材試験方法に準じる |
| 可使用時間 | | 20分 | 20分 | 20分 | 20℃ |
| 圧縮強さ (MPa) | 3時間 | 10 | 8 | 6 | JIS R 5201に準じる |
| | 24時間 | 20 | 16 | 12 | |
| | 7日 | 31 | 25 | 22 | |
| 下地との付着強さ (MPa) | コンクリート面 | 2.6 | 2.4 | 2.3 | 建研式引張試験器による 材令7日 |
| | 酢ビ系接着剤面 | 1.2 | 1.2 | 1.1 | |
| | A L C 板 | 0.6 | 0.6 | 0.6 | |





標準仕様

| 工程 | 材 料 希 釈 剤 | 混 合 割 合 (kg) | 塗 装 方 法 | 塗 付 量 (kg/m ² /回) | 塗 装 間 隔 (23℃) | 標 準 膜 厚 | 可 使 間 時 |
|-------|--|-----------------------------------|---------------|---------------------------------|------------------|---------|------------|
| 素地調整 | 表面の油脂分を取り除き、掃除機等で清掃する。 貼りもの下地の場合は貼りものをケレン機などで除去し、接着のりをグラインダー等で除去する。劣化したコンクリート面の場合は、劣化面を確実に除去する。 | | | | | | |
| 下塗り | 速硬モルタルプライマー | 主 剤：16.0 硬化剤： 2.0 | ハ ケ ロ ー ラー | 0.15 | 1~24 時間 | — | 1時間 |
| 塗 付 け | 速硬モルタルMM-1 清 水 | 粉 体：20.0 混和液B： 1.3 清 水： 3.9 | 金 ゴ テ | 2.0 | — | 1 mm | 20分 |
| | 速硬モルタルMM-3 清 水 | 粉 体：20.0 混和液B： 1.2 清 水： 3.6 | 金 ゴ テ | 6.0 | — | 3 mm | 20分 |
| | 速硬モルタルMM-10 清 水 | 粉 体：20.0 混和液B： 0.9 清 水： 2.7 | 金 ゴ テ | 20.0 | — | 10mm | 20分 |

*下塗りに速硬モルタル混和液B希釈液を使用する場合は、塗装間隔を1時間以上とする。

調合と使用量

| 種 類 | 標準練り混ぜ水量 | 塗り厚(mm) | m ² あたりの使用量 | | 1袋あたりの 施工面積 |
|-------|-------------|---------|------------------------|----------------------------|----------------------|
| | | | 粉体部 | 混 和 液 B | |
| MM-10 | 3.4~3.8 L/袋 | 10 | 20kg/m ² | 0.85~0.95 L/m ² | 1m ² /袋 |
| MM-3 | 4.6~5.0 L/袋 | 3 | 6 kg/m ² | 0.35~0.38 L/m ² | 3.3m ² /袋 |
| MM-1 | 5.0~5.4 L/袋 | 1 | 2 kg/m ² | 0.13~0.14 L/m ² | 10m ² /袋 |

*練り混ぜ水はボウジンテックス速硬モルタル混和液Bの4倍希釈液を使用する。

| プライマーの種類 | 混 合 割 合 | m ² あたりの塗付量 | 備 考 |
|-------------|-------------------------|--|-----|
| 速硬モルタル混和液B | 速硬モルタル：水=1：3 混 和 液 B | 0.3kg/m ² (混和液Bとしては0.08kg/m ²) | 軽歩行 |
| 速硬モルタルプライマー | 主剤：硬化剤=8：1 | 0.15kg/m ² | 重量物 |

補修フローチャート



注意事項

- 5℃以下での施工はさけて下さい。やむを得ず施工する場合は、ヒーターなどで室温を10℃以上に上げて下さい。
- 練り混ぜには、高速回転ハンドミキサーを使用してください。
- 従来のセメントモルタルに比較し、凝結・硬化が早いため、練り混ぜ量は少量とし、練り混ぜた材料は、ただちに塗り付けてください。
- 練り混ぜ水とプライマーは、計量器を用いて正確に計量してください。
- 残った材料に水を加えて使用することは、さけてください。
- 塗り付けてから硬化するまでは、水が掛からないように養生してください。
- 詳しくはMSDSをご参照ください。

種類と荷姿

| 種 類 | 標準塗り厚(mm) | 荷 姿 | |
|----------|---------------------|--------|--------------------------------------|
| 粉 体 | ボウジンテックス速硬モルタルMM-10 | 0.3~10 | 20kg/袋 |
| | ボウジンテックス速硬モルタルMM-3 | 0.5~3 | 20kg/袋 |
| | ボウジンテックス速硬モルタルMM-1 | 1以下 | 20kg/袋 |
| 混 和 液 | ボウジンテックス速硬モルタル混和液B | — | 3 kg/缶 18kg/缶 |
| | ボウジンテックス速硬モルタル混和液B | — | 3 kg/缶 18kg/缶 |
| プ ラ イ マー | ボウジンテックス速硬モルタルプライマー | — | 主剤：硬化剤=16kg：2kg 主剤：硬化剤= 4kg：0.5kg |